貸借対照表·財産目録

貸借対照表

(令和7年3月31日現在単位:千円、%)

	借方				貸 方	17年3月31日現在	
科目	令和5年度	令和6年度	対前年度比	科目	令和5年度	令和6年度	対前年度比
現金	663	788	118.8	基本財産	93,461,026	98,460,820	105.3
現金	663	788	118.8	基金	19,459,578	19,459,578	100.0
小切手	0	0	-	基金準備金	74,001,448	79,001,242	106.8
預け金	48,483,076	50,869,860	104.9	制度改革促進基金	0	0	-
当座預金	344,003	448,168	130.3	収支差額変動準備金	46,730,512	49,230,409	105.3
普通預金	1,209,094	3,444,632	284.9	その他有価証券評価差額金	-230,901	-297,900	129.0
通知預金	0	0		責任準備金	11,711,271	11,622,520	99.2
定期預金	46,900,000	46,950,000	100.1	求償権償却準備金	1,210,772	1,397,603	115.4
郵便貯金	29,979	27,060	90.3	退職給与引当金	2,277,727	2,296,761	100.8
金銭信託	3,000,000	0	0.0	損失補償金	4,661,467	4,558,346	97.8
有価証券 国債	148,150,628	151,920,936	102.5	保証債務 求償権補填金	1,724,511,856 0	1,658,231,724	96.2
地方債	33,327,855	33,185,381	99.6	保険金	0	0	_
社債	114,711,908	118,548,615	103.3	損失補償補填金	0	0	_
株式	21,000	21,000	100.0	借入金	0	0	_
受益証券	21,000	21,000	100.0	長期借入金	0	0	
新株予約権	0	0	_	(うち日本政策	0	0	_
ファンド出資	89.865	165.939	184.7	金融公庫分)			
譲渡性預金	0	0	-	短期借入金	0	0	_
その他	0	0	_	(うち日本政策	0	0	_
動産・不動産	1,795,011	1,804,111	100.5	金融公庫分)			
事業用不動産	1,503,721	1,504,830	100.1	収支差額変動	0	0	-
事業用動産	291,290	299,281	102.7	準備金造成資金			
所有動産・不動産	0	0	-	基金補助金	0	0	-
建設仮勘定	0	0	-	雑勘定	55,361,119	51,567,071	93.1
損失補償金見返	4,661,467	4,558,346	97.8	仮受金	422,776	272,506	64.5
保証債務見返	1,724,511,856	1,658,231,724	96.2	保険納付金	298,445	308,358	103.3
求償権	5,242,710	5,880,057	112.2	損失補償納付金	42,589	62,557	146.9
譲受債権	0	0	-	未経過保証料	54,548,636	50,874,272	93.3
雑勘定	3,849,438	3,801,532	98.8	未払保険料	5,846	4,638	79.3
仮払金	2,396	7,047	294.1	未払費用	42,828	44,740	104.5
保証金	6,950	7,100	102.2	有価証券未払金	0	0	-
厚生基金	143,232	128,487	89.7				
連合会勘定 未収利息	29	1,281	4468.1				
木収利息 有価証券未収入金	296,808	321,898	108.5				
有個証券未収入並 未経過保険料	3,400,023	0 3,335,720	98.1				
				A =1		 	
合 計	1,939,694,848	1,877,067,353	96.8	合 計	1,939,694,848	1,877,067,353	96.8

※各項目の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

財産目録

(令和7年3月31日現在単位:千円、%)

資 産					負 債		
科目	令和5年度	令和6年度	対前年度比	科目	令和5年度	令和6年度	対前年度比
現金	663	788	118.8	その他有価証券評価差額金	-230,901	-297,900	129.0
預け金	48,483,076	50,869,860	104.9	責任準備金	11,711,271	11,622,520	99.2
金銭信託	3,000,000	0	0.0	求償権償却準備金	1,210,772	1,397,603	115.4
有価証券	148,150,628	151,920,936	102.5	退職給与引当金	2.277.727	2,296,761	100.8
動産・不動産	1,795,011	1,804,111	100.5	損失補償金	4,661,467	4,558,346	97.8
損失補償金見返	4,661,467	4,558,346	97.8	保証債務	1,724,511,856	1,658,231,724	96.2
保証債務見返	1,724,511,856	1,658,231,724	96.2	求償権補塡金	1,724,511,000	1,030,231,724	30.2
求償権	5,242,710	5,880,057	112.2			0	_
譲受債権	0	0	-	借入金	0	0	
雑勘定	3,849,438	3,801,532	98.8	雑勘定	55,361,119	51,567,071	93.1
合 計	1,939,694,848	1,877,067,353	96.8	合 計	1,799,503,310	1,729,376,124	96.1
※各項目の合計は四捨五入の関係	で必ずしも一致しま	せん。		正味財産	140,191,538	147,691,229	105.3

令和6年度貸借対照表(図解)

借 方

貸 方

基本財産 985億円(935億円)

現金・預け金 509億円(485億円)

有価証券等 有価証券等 社債·地方債等を保有し、運用 1,519億円(1,512億円)

しています。

決算書上の求償権とは、代位 弁済累計額から既受領保険金 等相当分を控除した額です。

未経過保険料 …………

当年度中に支払った保険料の うち、翌事業年度に帰属する 部分について計上しています。 不動産等 18億円(18億円)

求償権 59億円(52億円)

未経過保険料 33億円(34億円)

その他 5億円(4億円)

··基本財産

株式会社の資本金に相当します。 出資金としての性格を持つ出捐 金と、金融機関等負担金からなる 基金195億円と、過去の収支差額 の累計の基金準備金790億円に より構成されています。

収支差額変動準備金 492億円(467億円)

責任準備金 116億円(117億円)

求償権償却準備金 14億円(12億円)

退職給与引当金23億円(23億円)

未経過保証料 509億円(545億円)

その他 4億円(6億円)

· 収支差額変動準備金

収支差額に欠損が生じた場合や、 急激な保証の増大等により基本 財産の増強が必要となった場合 には、これを取り崩して、協会 経営が不安定になることを防ぐ ことができます。当期は収支差額 75億円のうち25億円を繰り入れ ました。

未経過保証料

受入保証料のうち当該決算期間の 未経過部分(次年度以降にかかる 保証料)を計上します。



※()内は前期の数字

※保証債務見返(資産)と保証債務(負債)、損失補償金見返(資産)と損失補償金(負債)は同額のため、このグラフからは除いてあります。 ※各項目の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

収支計算書

収支計算書

(令和7年3月31日現在単位:千円、%)

	支 出			(令和7年3月31日現在 単位:十円 収入			
科目	令和5年度	令和6年度	対前年度比	科目	令和5年度	令和6年度	対前年度比
経常支出				経常収入			
業務費	3,417,742	3,551,737	103.9	保証料	17,677,927	17,031,578	96.3
役職員給与	1,344,531	1,383,745	102.9	預け金利息	165,968	238,544	143.7
退職給与引当金繰入	162,754	171,624	105.5	有価証券利息・配当金	1,334,349	1,431,302	107.3
その他人件費	466,410	514,710	110.4	調査料	0	0	_
旅費	8,113	8,630	106.4	延滞保証料	0	0	_
事務費	555,427	649,373	116.9	損害金	194,592	175,030	89.9
賃 借 料	56,978	57,481	100.9	事務補助金	45,404	48,986	107.9
動産・不動産償却	201,100	210,336	104.6	責任共有負担金	1,371,745	1,946,848	141.9
信用調査費	12,313	13,446	109.2	雑 収 入	158,332	154,220	97.4
債権管理費	537,234	465,364	86.6	THE DO NOT	. 55,552	101,220	
指導普及費	37,639	41,196	109.5				
負担金	35,243	35,831	103.3				
借入金利息	0	0	101.7				
信用保険料	7,916,321	7,568,468	95.6				
青任共有負担金納付金	208,828	630,528	301.9				
雑 支 出	12,260	030,320	0.0				
	11,555,151	11,750,733	101.7		20,948,317	21,026,508	100.4
	9,393,166	9,275,775	98.8			,,	
1-11-010-11-101	2,222,133	-,-,-,,		◆▽☆ AJ IIT 3			
経常外支出	00 0 45 070	00 701 005	1105	経常外収入	007.040	004.450	
求償権償却	20,045,273	23,761,635	118.5	償却求償権回収金	927,643	834,459	90.0
譲受債権償却	0	0	-	責任準備金戻入	12,145,997	11,711,271	96.4
雑勘定償却	69,965	70,523	100.8	求償権償却準備金戻入	756,315	1,210,772	160.1
有価証券評価損	0	0	-	求償権補填金戻入	17,668,532	21,311,756	120.6
有価証券売却損	0	0		保険金	16,621,877	19,599,871	117.9
退職金	13,735	3,490	25.4	損失補償補填金	1,046,655	1,711,886	163.6
責任準備金繰入	11,711,271	11,622,520	99.2	有価証券評価益	0	0	-
求償権償却準備金繰入	1,210,772	1,397,603	115.4	有価証券売却益	0	0	-
その他支出	52,565	6,632	12.6	補助金	0	0	-
				その他収入	254,472	18,061	7.1
合 計	33,103,581	36,862,404	111.4	合 計	31,752,960	35,086,319	110.5
経常外収支差額	-1,350,621	-1,776,085	131.5			·	
				制度改革促進基金取崩額	0	0	_
				収支差額変動準備金取崩額	0	0	_
当期収支差額	8,042,545	7,499,690	93.3				
収支差額変動準備金繰入額	2,680,848	2,499,897	93.3				
基本財産繰入額	5,361,697	4,999,793	93.3				

※各項目の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

令和6年度収支計算書(図解)

出 支

収 入

業務費 36億円(34億円)

責任共有負担金納付金

6億円(2億円)

信用保険料 76億円(79億円)

預け金利息等 17億円(15億円)

経常収入

経常外収入

保証料

170億円(177億円)

責任共有負担金 19億円(14億円)

その他 4億円(4億円)

保証料

決算書上の保証料は、受入保証 料のうち当該決算期間に対応 する額、つまり(前期末未経過 保証料+当期受入保証料-当期末未経過保証料)が計上 されます。

責任共有負担金

責任共有制度において負担金 方式を選択した金融機関が、 過去の制度利用実績(代位弁済 率等)に応じて協会に納める 負担金を計上しています。

信用保険料 ………

公庫への信用保険料は1年分 前払いですが、決算書上では 当該決算期間に対応する額を 計上します。つまり(当期支払 保険料+前期末未経過保険料+ 当期末未払保険料-前期末 未払保険料-当期末未経過 保険料)が計上されます。

求償権償却 ……………

年度末求償権のうち当年度 中に受領した保険金・損失補償 補填金を原資として償却する もの(213億円)および代位 弁済後5年を経過したものと 当協会の償却基準により特に 回収困難と認められるもの (25億円)を合算した238億円 を計上しています。

求償権償却 238億円(200億円)

経常外支出

責任準備金繰入 116億円(117億円)

責任準備金戻入 117億円(121億円)

求償権償却準備金戻*〕*

12億円(8億円)

責任準備金戻入

景気変動等により代位弁済が 著しく増加した場合に備え (支払い資金)として、保証債務 残高に対して一定の割合を 積み立てています。 洗替え方式 を採用しており、前期末に計上 した責任準備金の戻入(収入) が行われると同時に当期責任 準備金の繰入(支出)が行われ

求償権償却 準備金繰入

求償権は100%回収可能な ものではないので、資産の健全 性を保つ観点から求償権の 回収不能額を見積もって一定 の割合を積み立てます。洗替え 方式を採用しているので、前期 末に計上した求償権償却準備 金の戻入(収入)が行われると 同時に、求償権償却準備金の 繰入(支出)が行われます。

求償権償却準備金繰入 14億円(12億円) その他1億円(1億円)

> 当期収支差額 75億円(80億円)

求償権補填金戻入 213億円(177億円)

その他 9億円(12億円)

求償権補填金戻入

代位弁済により公庫から受領 した保険金と兵庫県等から 受領した損失補償補填金から なっています。求償権補填金を 期末に戻入処理することに より求償権の償却を行います。

※()内は前期の数字

※各項目の合計は四捨五入の関係で必ずしも一致しません。

基本財産①

基本財産とは

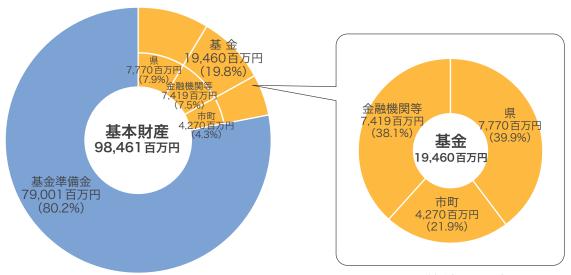
基本財産とは一般企業の資本金に相当するもので、信用保証協会が引き受けた保証債務の最終担保としての性格があります。このことから、当協会が引き受ける保証債務の最高限度額は、定款により基本財産の60倍と定められています。したがって、事業者の保証需要に安定して応え、公共的使命を果たしていくためには、基本財産の充実が不可欠となっています。なお、令和6年度は保証債務残高1兆6,582億円に対して、基本財産は984億61百万円で、実際倍率は16.8倍となりました。

基本財産の構成

基本財産は基金および基金準備金で構成されています。

- ②基金準備金・・・・・・・・・・・・・毎事業年度、決算における収支差額のうち、基金準備金として繰り入れを した金額の累計で、信用保証協会の自己造成資金です。
- ③金融安定化特別基金・・・・・中小企業金融安定化特別保証を実施するため、国から拠出された特別な基金です (平成21年度末をもって廃止)。

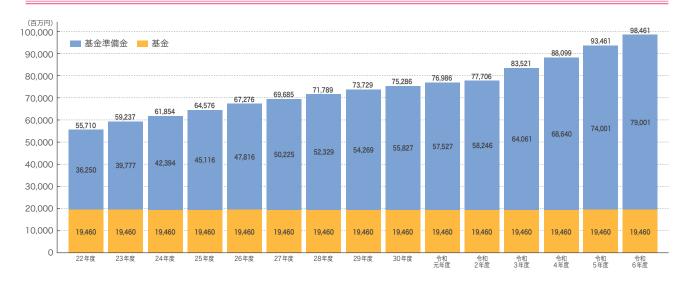
基本財産の内訳 (令和7年3月31日現在)



※県出捐金(7,770百万円)のうち56.1%は国庫から拠出

②基金準備金	金融機関等負担金·出捐金	7,419百万円 79,001百万円
	地方公共団体出捐金	12,040百万円
①基金	N. L. O. H. ET (L. H. III. A.	19,460百万円
基本財産		98,461 百万円

基本財産の推移



(単位:千円)

年 度	基本財産	基金	基金準備金
平成22年度	55,709,966	19,459,578	36,250,388
平成23年度	59,236,803	19,459,578	39,777,225
平成24年度	61,853,976	19,459,578	42,394,399
平成25年度	64,575,619	19,459,578	45,116,041
平成26年度	67,275,993	19,459,578	47,816,415
平成27年度	69,684,868	19,459,578	50,225,290
平成28年度	71,788,951	19,459,578	52,329,373
平成29年度	73,729,037	19,459,578	54,269,459
平成30年度	75,286,385	19,459,578	55,826,807
令和元年度	76,986,385	19,459,578	57,526,807
令和2年度	77,705,540	19,459,578	58,245,962
令和3年度	83,520,901	19,459,578	64,061,323
令和4年度	88,099,329	19,459,578	68,639,751
令和5年度	93,461,026	19,459.578	74,001,448
令和6年度	98,460,820	19,459,578	79,001,242

基本財産2

基本財産の増強

信用保証協会が健全な経営を行い、その公共的使命を果たしていくためには、基本財産の充実が不可欠です。当協会は県・市町からの出捐金、金融機関からの負担金および国からの金融安定化特別基金のほか、自己造成による基金準備金への繰り入れにより、その増強に努めてきました。

特に平成7年度には震災融資により急増した保証債務残高に対処するため、県・市町、金融機関に出捐金・ 負担金の拠出要請をいたしました。また、その後についても保証債務残高の増勢が見込まれたことから、 5カ年造成計画を策定して基本財産の充実を図りました。

年度別造成額 (単位: 千円)

							み 融ウウル	
年 度	基金	出捐金		金融機関等	基金準備金	金融安定化 計	計	
		山沿亚	兵庫県	市町	負担金		100035577	
平成 7年度~ 平成21年度	11,965,505	7,565,125	5,040,066	2,525,059	4,400,380	14,547,533	12,166,000	38,679,038
平成22年度	1,064,020	0	0	0	1,064,020	2,320,471	0	3,384,491
平成23年度	0	0	0	0	0	3,526,838	0	3,526,838
平成24年度	0	0	0	0	0	2,617,173	0	2,617,173
平成25年度	0	0	0	0	0	2,721,642	0	2,721,642
平成26年度	0	0	0	0	0	2,700,375	0	2,700,375
平成27年度	0	0	0	0	0	2,408,874	0	2,408,874
平成28年度	0	0	0	0	0	2,104,084	0	2,104,084
平成29年度	0	0	0	0	0	1,940,086	0	1,940,086
平成30年度	0	0	0	0	0	1,557,348	0	1,557,348
令和 元年度	0	0	0	0	0	1,700,000	0	1,700,000
令和 2年度	0	0	0	0	0	719,155	0	719,155
令和 3年度	0	0	0	0	0	5,815,361	0	5,815,361
令和 4年度	0	0	0	0	0	4,578,428	0	4,578,428
令和 5年度	0	0	0	0	0	5,361,697	0	5,361,697
令和 6年度	0	0	0	0	0	4,999,793	0	4,999,793
合 計	13,029,525	7,565,125	5,040,066	2,525,059	5,464,400	59,618,858	12,166,000	84,814,383

出捐金・金融機関等負担金の残高

①総括表

(令和7年3月31日現在 単位:千円)

拠 出 先	出捐金	金融機関等負担金	숌 計
地方公共団体	12,040,212	_	12,040,212
金融機関等	78,235	7,341,131	7,419,366
合計	12,118,447	7,341,131	19,459,578

②地方公共団体

(令和7年3月31日現在 単位:千円)

	出捐金
兵庫県	7,770,175

	出捐金		
神戸市	1,621,650		
尼崎市	369,400		
西宮市	295,400		
姫路市	396,665		
明石市	158,900		
洲本市	59,100		
芦屋市	77,700		
伊丹市	118,210		
相生市	20,500		
豊岡市	52,270		
加古川市	142,700		
たつの市	68,780		
赤穂市	25,850		
西脇市	53,050		
宝塚市	90,450		
三木市	63,200		
高砂市	54,200		
川西市	40,900		
小野市	30,900		
三田市	40,100		
加西市	34,400		
丹波篠山市	24,983		
養父市	19,257		
丹波市	53,280		
南あわじ市	78,370		
朝来市	22,060		
宍粟市	27,550		
淡路市	65,084		
加東市	27,133		
市計	4,132,042		

	出捐金
川辺郡 猪名川町	4,380
多可郡 多可町	22,140
加古郡 稲美町	13,850
播磨町	12,510
神崎郡 神河町	9,210
市川町	8,690
福崎町	14,872
揖保郡 太子町	17,940
赤穂郡 上郡町	8,336
佐用郡 佐用町	11,200
美方郡 香美町	9,241
新温泉町	5,626
町 計	137,995

地方公共団体計	12.040.212

③金融機関等

(令和7年3月31日現在 単位:千円)

			(1 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	出捐金	金融機関等負担金	合 計
都市銀行	39,515	2,760,120	2,799,635
地方銀行	4,965	639,510	644,475
第二地方銀行協会加盟行	5,400	1,142,425	1,147,825
信託銀行	1,300	32,310	33,610
信用金庫	22,480	2,379,006	2,401,486
信用組合	3,905	322,135	326,040
農業協同組合	0	3,450	3,450
商工組合中央金庫	250	42,010	42,260
日本政策金融公庫	10	0	10
SBI新生銀行	100	1,900	2,000
あおぞら銀行	300	0	300
生命保険会社	0	2,300	2,300
損害保険会社	0	500	500
預金保険機構	10	480	490
労働金庫	0	1,500	1,500
その他	0	13,485	13,485
合 計	78,235	7,341,131	7,419,366